

IV 出願関係書類様式

令和6(2024)年度
札幌医科大学大学院医学研究科(博士課程)
入 学 願 書

※受付番号	第 号	※受付月日	月 日
貴大学大学院医学研究科へ入学したいので、所定の書類を添えて出願いたします。			
令和 年 月 日			
札幌医科大学大学院医学研究科長 様			
(ふりがな) 出願者氏名 (印)			
生年月日 昭和・平成 年 月 日 男・女 (歳)			
出願種別	1. 一般	2. 社会人	3. 出願資格審査合格
志望する専攻 主 科 目	第1志望	専攻 (科目群:	領域 (学)
	第2志望	専攻 (科目群:	領域 (学)
出願資格	医学部大学 医学部 医学科	昭和 平成 年 月 日 卒業 令和 卒業見込
	医学部 以外大学学部学科	昭和 平成 年 月 日 卒業 令和 卒業見込
	大学大学院.....研究科.....課程	昭和 平成 年 月 日 卒業 令和 修了見込
	上記以外の 出願資格	(最終学校名及び卒業年月日を記入してください。)	
医師(歯科医師) 免許証所有状況	医 籍 昭和・平成・令和 年 月 歯科医籍 登録第 号		
Email	@		
本 籍 地	都 ・ 道 ・ 府 ・ 県		
現 住 所	〒	自宅電話 ☎() — 携帯電話 ☎() —	
連絡先	本人	通知を受ける場所	〒 ☎() —
	父母等	現住所	〒 ☎() —
		(ふりがな) 氏 名	

(注1) 志願者は、※印欄を除く該当欄に記入し、所要の文字を○で囲んでください。

(注2) 出願者氏名は、戸籍に基づいて正確に記載してください。

(注3) 国外から出願する外国人留学生は、「連絡先・父母等」の欄に、身元保証人に関する事項を記載してください。

(切りとり線)

履 歴 書

	年 号	年 月 日	事 項
経 歴	昭和 平成 令和	. .	(高等学校名(外国人出願者は小学校名)を記入し、どちらかの文字を○で囲んでください。 学校(卒業 . 入学)
	昭和 平成 令和	. .	
	昭和 平成 令和	. .	
	昭和 平成 令和	. .	
	昭和 平成 令和	. .	
	昭和 平成 令和	. .	
	昭和 平成 令和	. .	
	昭和 平成 令和	. .	
	昭和 平成 令和	. .	
	昭和 平成 令和	. .	
	昭和 平成 令和	. .	
	昭和 平成 令和	. .	
	昭和 平成 令和	. .	
	昭和 平成 令和	. .	
	賞 罰	昭和 平成 令和	. .
昭和 平成 令和		. .	
上記のとおり相違ありません。			
令和 年 月 日			
氏 名 ㊟			

(注1) 高等学校卒業から現在までの経歴(医師(歯科医師)国家試験合格、臨床研修期間を含む。)

を年次に従いもれなく記載し、職歴については、職名を併せて記入してください。

なお、外国人出願者は、小学校入学から記載してください。

(注2) 氏名は、戸籍に基づいて正確に記載してください。

令和6(2024)年度

札幌医科大学大学院医学研究科(博士課程)入学試験

受験票		
※ 受験番号		
氏名		
志望する 専攻主科目	第1志望	専攻 領域 学
	第2志望	専攻 領域 学
<試験日程> 前期 令和5(2023)年8月25日(金) 後期 令和6(2024)年1月26日(金) 9:00~10:30 専攻主科目(第1志望) 10:40~12:10 専攻主科目(第2志望) 13:00~14:30 外国語(英語)I・II ◇辞書持ち込み可。電子辞書は不可。 ◇試験当日は必ずこの受験票を持参すること。 ◇裏面に記載の受験上の注意を確認しておくこと。 <外国語試験会場> 札幌医科大学教育学研究棟3階D303講義室 札幌市中央区南1条西17丁目 電話011-611-2111(内線23510)		写真貼付 縦4cm×横3cm

令和6(2024)年度

札幌医科大学大学院医学研究科(博士課程)入学試験

写真票		
※ 受験番号		
(フリガナ) 氏名		
志望する 専攻主科目	第1志望	専攻 領域 学
	第2志望	専攻 領域 学
<写真貼付> 縦4cm×横3cm		

- ・ ※印欄は記載しないでください。
- ・ 氏名は、戸籍に基づいて正確に記載してください。
- ・ 志望する専攻分野欄は、第2志望がない場合は、第1志望のみ記入のこと

受験上の注意

- 1 試験当日、午前は8時50分までに志望する各教室に集合すること。
- 2 午後は12時45分までに試験室前に集合すること。
なお、12時から試験室に入室できません。
- 3 試験開始時刻に遅刻した場合は、開始後30分以内に限り受験を認めます。ただし、試験時間の延長は認めません。
- 4 試験室では机上の番号と受験番号が同一であることを確認して着席すること。
- 5 机上には受験票、鉛筆(シャープペンシル)、消しゴム、時計、辞書以外の所持品を置かないこと。
- 6 試験室に入室してから試験終了時までの間、退出は認めません。
試験中の発病、用便等やむを得ない場合は、監督員の指示に従うこと。
- 7 試験室に携帯電話(スマートフォン)を持ち込む際は、必ず電源を切ること。

検定料の振込について

振込方法

- 1 検定料30,000円は、本学募集要項に添付されている振込用紙に必要事項を記入の上、最寄りの郵便局の窓口で、出願手続前までにお振り込みください。
- 2 振込用紙(払込取扱票、振替払込請求書兼受領証、振替払込受付証明書)の「ご依頼人欄」を、黒のボールペンで正確に記入してください。
※ 3連票は、切り離さずに3枚組のまま郵便局の窓口提出してください。
- 3 振込後「振替払込受付証明書」を右の検定料納付確認票に貼付して、出願書類と一緒に提出してください(受付郵便局の収納印のないものは無効)。

留意事項

- 1 出願書類を大学窓口に提出する際、郵便普通為替証書あるいは現金を納付して手続きをすることはできませんので、ご注意ください。
- 2 検定料が振り込まれていない場合、「振替払込受付証明書」が貼付されていない場合、「振替払込受付証明書」に受付郵便局の収納印がない場合は、出願書類の受理はできません。
- 3 インターネットバンキング、モバイルサービス等での振込はできません。ご了承ください。

札幌医科大学大学院医学研究科

入学試験 検定料納付確認票

※受験番号	
氏名	
「振替払込受付証明書」貼付欄	

注)※印欄は大学側で使用するので、記入しないでください。

いずれかを○で囲んでください
(前期試験・後期試験)

令和6(2024)年度
札幌医科大学大学院医学研究科(博士課程)
出願資格審査申請書

札幌医科大学大学院医学研究科長 様

令和 年 月 日

(ふりがな)

出願者氏名 印

生年月日 昭和・平成 年 月 日 男・女
(歳)

貴大学大学院医学研究科博士課程の出願資格審査について、所定の書類を添えて申請いたします。

志望する専攻 主 科 目	第1志望	専攻 (科目群:	領域 学)
	第2志望	専攻 (科目群:	領域 学)
学 歴 (高等学校 卒業以降 から記入)	高等学校 科		
	昭和・平成・令和 年 月 日 入学	昭和・平成・令和 年 月 日 卒業	
	学校 科		
	大学 科		
	昭和・平成・令和 年 月 日 入学	昭和・平成・令和 年 月 日 卒業	
	学校 科		
大学 科			
昭和・平成・令和 年 月 日 入学	昭和・平成・令和 年 月 日 卒業		
資 格	昭和・平成・令和 年 月 日		
	昭和・平成・令和 年 月 日		
職歴・研究歴	期 間	最終学校卒業後の経歴	
職 歴	昭・平・令 年 月 ~ 昭・平・令 年 月		
	昭・平・令 年 月 ~ 昭・平・令 年 月		
	昭・平・令 年 月 ~ 昭・平・令 年 月		
研 究 歴	昭・平・令 年 月 ~ 昭・平・令 年 月		
	昭・平・令 年 月 ~ 昭・平・令 年 月		
	昭・平・令 年 月 ~ 昭・平・令 年 月		
現 住 所	〒	自宅電話 ☎() — 携帯電話 ☎() —	
審査結果 通知先	〒	☎() —	

(注)出願者氏名は、戸籍に基づいて正確に記載してください。

(切りとり線)

志 望 理 由 書

氏 名

札幌医科大学大学院医学研究科

--	--

(切りとり線)

注: 本様式に直接記入するか、本様式(A4判)に準じてパソコン等により作成すること。

研 究 計 画 書

氏 名		札幌医科大学大学院医学研究科
研 究 課 題		
研究計画概要		

(切りとり線)

注:本様式に直接記入するか、本様式(A4判)に準じてパソコン等により作成すること。

研究活動歴

札幌医科大学大学院医学研究科
(氏 名)

I 著書

--	--	--

II 総説

--	--	--

III 原著

III-1 原著

--	--	--

III-2 症例報告

--	--	--

III-3 治験報告

--	--	--

IV 国際学会のProceedings

--	--	--

V 学会発表

--	--	--

VI 特許

--	--	--

VII その他（研究報告書、監修、訳書、教科書、辞典など）

--	--	--

- 注：1 次ページの「記載例」、「研究活動歴の記載にあたって」により記入すること。
注：2 本様式に直接記入するか、本様式（A4判）に準じてパソコン等により作成すること。

I 著書

- 1 北野太郎. 医学統計実践. 東京:朝倉書店;1979. pp1-219.
- 2-1 Rosenberger L, Kitano T. In Rosenberger L, Kitano T, eds. Calcium channels. London: Plenum Press;1980. pp21-34.
- 2-2 Rosenberger L, Kitano T. In Rosenberger L, Kitano T, eds. Calcium channels. London: Plenum Press;1980. pp48-62.
- 3-1 北野太郎. レセプター研究の原理と実際. 小川紀雄編. 新脳のレセプター. 東京: 世界保健通信社; 1995. pp8-18.
- 3-2 佐藤博彦, 北野太郎. ソマトスタチン・レセプター. 小川紀雄編. 新脳のレセプター. 東京: 世界保健通信社; 1995. pp142-156.

II 総説

- 4 北野太郎, 太田五郎, 山本三郎. 人工弁とその移植術. 日医新報 1996;65:38-43.

III 原著

III-1 原著

- 5 Kitano T, Ohta G. Thrombosis of prosthetic valve. J Cardiovasc Surg 1987;33:85-92.
- ※6 Rosenberger L, Taguchi.T, Ohta G, Kitano T. Absorption Cytometric DNA analysis of sections of gastric carcinomas and a comparison with cytofluorometry of single-cell suspensions and flow cytometry. Cancer Res 1989;56:121-126.
- ◎7 Ohta G, Kitano T, Kazuo Y. Epidermal growth factor receptor in human breast cancer. Am J Med Genet 2002;128:58-72.

III-2 症例報告

- 8 北野太郎, 藻岩 清. 先天性心膜欠損の一例. 胸外 1987;65:697-702.

III-3 治験報告

- 9 田口哲夫, 北野太郎, 山本一男, 竹田幸子. 重度の癌性疼痛に対する塩酸ブプレノルフィンの2重盲験比較試験. 医学のあゆみ 1989;148:553-559.

IV 国際学会のProceedings

- 10 Kitano T. Differential therapy with calcium antagonists. In : Rosenthal E. ed. Proceedings of the 3rd International Symposium on Hypertension : 1995 Oct 29-31. London : Saunders ; 1996, pp39-43.

V 学会発表

- 11 Ohta G, Kitano T. Long term results of tricuspid valve replacement. In : The 3rd World Conference on Lung Health : 1988 Oct 29-31 : Boston,U.S.A.
- 12 北野太郎. 脳動脈奇形に対する治療の現状と展望. (シンポジウム) 第99回日本脳神経外科学会総会 : 1995年3月24-26日 : 札幌

VI 特許

- 13 ソマトスタチン・レセプターに関する特許1件 (特開平08-990094/in Japan)

VII その他(研究報告書、監修、訳書、教科書、辞典など)

- 14 西田二郎, 北野太郎監訳. ワトソン・DNAの分子生物学. 第2版. 東京:東京出版社;1996.
- 15 南川三郎, 北野太郎, 東山史郎編. 遊離細胞—実験と応用. 蛋白質・核酸・酵素 (増刊号). 1996;41:90-98
- 16 北野太郎訳. ソマトスタチン. (南川三郎監訳. 脳内ペプチド. 第8章. pp95~98) .
- 17 北野太郎. 平滑筋におけるジルチアゼムの弛緩作用. ジルチアゼム研究会会報. 1997;9:23-25.

研究活動歴の記載にあたって

- 1 提出された目録はそのままコピーするので、A4版の用紙に記載すること。
 - 2 業績は、I 著書、II 総説、III 原著、IV 国際学会の Proceedings (抄録を除く)、V 学会発表、VI 特許、VII その他に分け、一連番号を付して発表年代順に記載すること。英文・邦文による区別はしないこと。
 - I 著書
現在までに蓄積された知識を系統的にまとめ、1冊で完結している資料をいう(単行本、分担執筆など)。
 - (1) 著者が単独で執筆した著書にあっては、総ページ数を記載すること。
 - (2) 数名の著者が共同で分担執筆している著書にあっては、著書名は連記し、本人の担当分について章、ページ数を列記する。
 - (3) 編者のあるものについては、著者名とは別に編者名を記載する。
 - (4) 同一の著書に2つ以上の論文を執筆している場合は、例に示すごとく、「枝番」をつけて記載すること。
 - II 総説
特定分野の最新の研究動向を全体的に展望し、研究の現状・問題点・今後の動向などを示唆する論文。
総説は原則として、医学中央雑誌及び Index Medicus に収載されている雑誌に掲載されたものとする。ただし、これら2誌に収録されていない雑誌については、委員会においてその都度検討する。
 - III 原著
他者が発表していないオリジナルな雑誌論文であるが、下記のごとく分類して記載すること。
 - III-1 原著
(1) いわゆる原著を指し、以下の症例報告、治験報告を含まない。緒言・実験方法・結果・考察・引用文献よりなり、レフリー制を採る雑誌掲載のものを指す。
 - (2) 1ページものの論文については、コピーを取り寄せ、その都度委員会において検討する。
 - (3) 研究会機関誌掲載の論文は、「VII その他」に記載する。
 - III-2 症例報告
 - III-3 治験報告
 - IV 国際学会の Proceedings
 - V 学会発表
全国規模の学会における特別講演、宿題講演、シンポジウム、国際学会での発表及びこれに準ずるもののみ記載すること。ただし、「IV 国際学会の Proceedings」に記載したものは除くこと。(国内で行われる学会における一般演題については除くこと。)
 - VI 特許
 - VII その他
ここに含まれるものについては、その都度委員会で検討する。原則としては、次のとおりとする。
 - (1) 上述した I、II、III、IV、V、VI の分類に含まれないものを記載する。
 - (2) Letter to the editor 的な短報はここに記載する。
(ただし、Nature や Science などの場合は「・・・・(Nature 又は Science など)」と記載してください。)
 - (3) Editorial、Correspondence 及び Supplement についてもここに記載する。
(ただし、Reviewer の評価を受けた場合は、supplement は「・・・・(reviewer)」と記載してください。)
 - (4) 辞典、教科書、訳書、自らの執筆部分はないが監修・編集あるいは監訳したものをここに含める。
- 3 印刷中 (in press) の場合は、掲載証明書を必ず添付すること。
- 4 業績の著者名のうち、本人名にアンダーラインを引くこと。また、本人が corresponding author の論文には※印、equally contributing author (共筆頭著者) の論文には◎印をそれぞれ番号の前に付けること。
- 5 業績の記載例は、別紙「記載例」のとおりとする。また、発表雑誌名は通例(注)に従って、省略名を用いて記載すること。
注：通例とは、医学中央雑誌及び Index Medicus に収載されているものに準じる。
- 6 I、II、III、IV、V、VI、VII の分類で該当する業績がない場合は、当該分類欄に「該当なし」と記載すること。

受験許可書

氏名

生年月日 昭和・平成 年 月 日

上記の者が、令和6（2024）年度札幌医科大学大学院医学研究科（博士課程）の入学試験を受験することを許可します。

令和 年 月 日

札幌医科大学大学院医学研究科長 様

所在地

機関名

所属長（職・氏名）

印

（切りとり線）